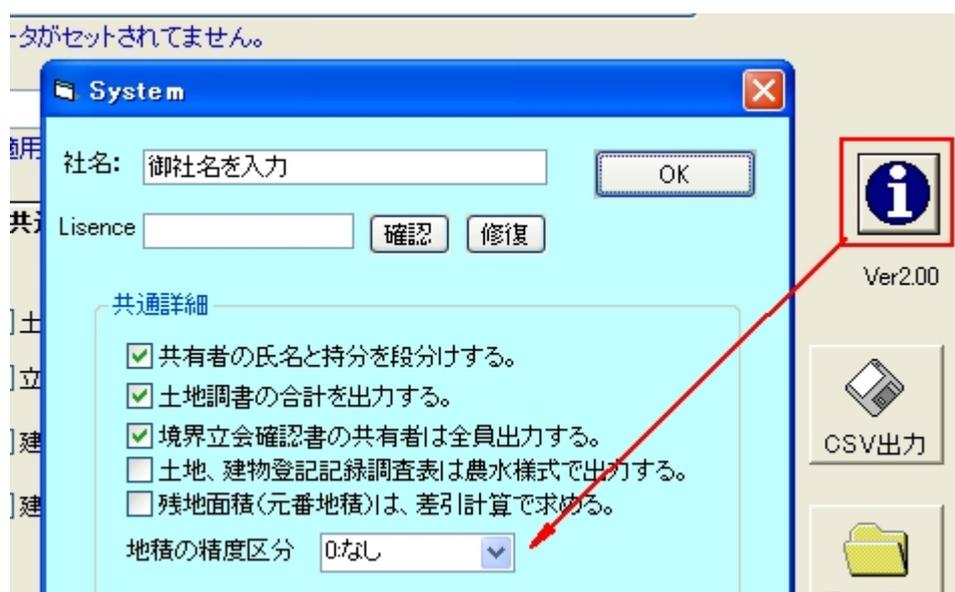


LAP通信 Vol2.00

埼玉県一土地調査表(一覧)の地積更生の要否欄の判定方法を変更しました。

以前は、登記簿地積より面積計が多くなった場合に、“要”を出力しましたが、地積の精度区分により判定するように改良しました。

Systemに地積の精度区分条件を新設しました。



【地積の精度区分】

0:なし

1: 甲 1 $a=(0.025+0.0003\sqrt{\sqrt{F}})\sqrt{F}$

2: 甲 2 $a=(0.05+0.01\sqrt{\sqrt{F}})\sqrt{F}$

3: 甲 3 $a=(0.10+0.02\sqrt{\sqrt{F}})\sqrt{F}$

4: 乙 1 $a=(0.10+0.04\sqrt{\sqrt{F}})\sqrt{F}$

5: 乙 2 $a=(0.25+0.07\sqrt{\sqrt{F}})\sqrt{F}$

6: 乙 3 $a=(0.50+0.14\sqrt{\sqrt{F}})\sqrt{F}$

※Fは登記簿地積

【判定方法】

(面積計－登記簿地積) > a の場合、“要”を出力

※登記簿地積が空欄・面積計が空欄の場合は、判定しません。

※旧タイプの一覧表の場合には、“全、分筆、地積更正の別”欄に“地積更生”文字を出力します。